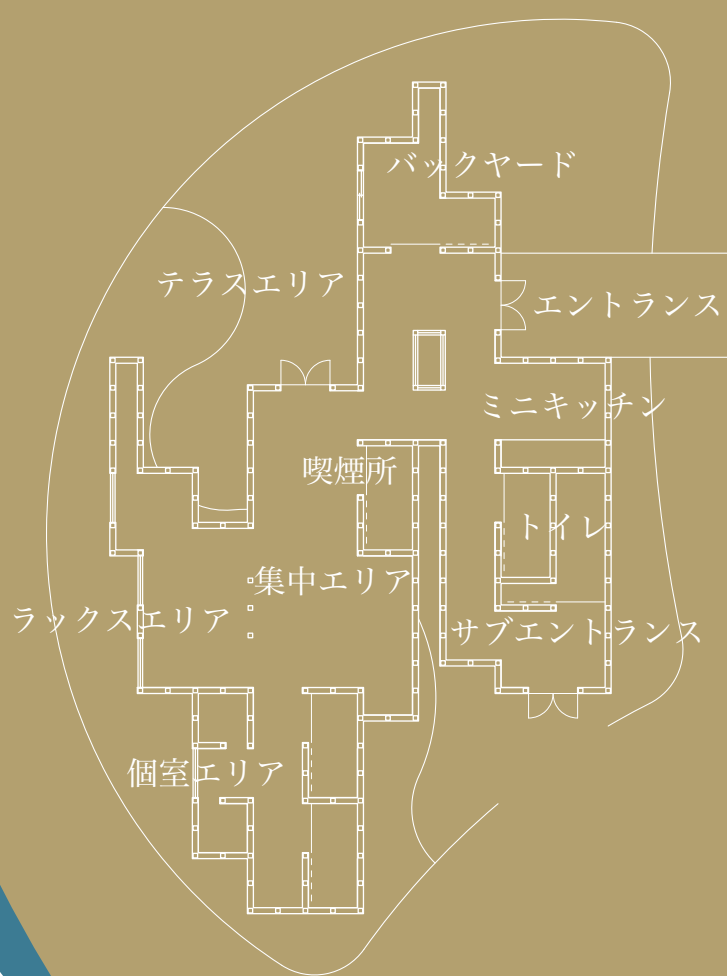
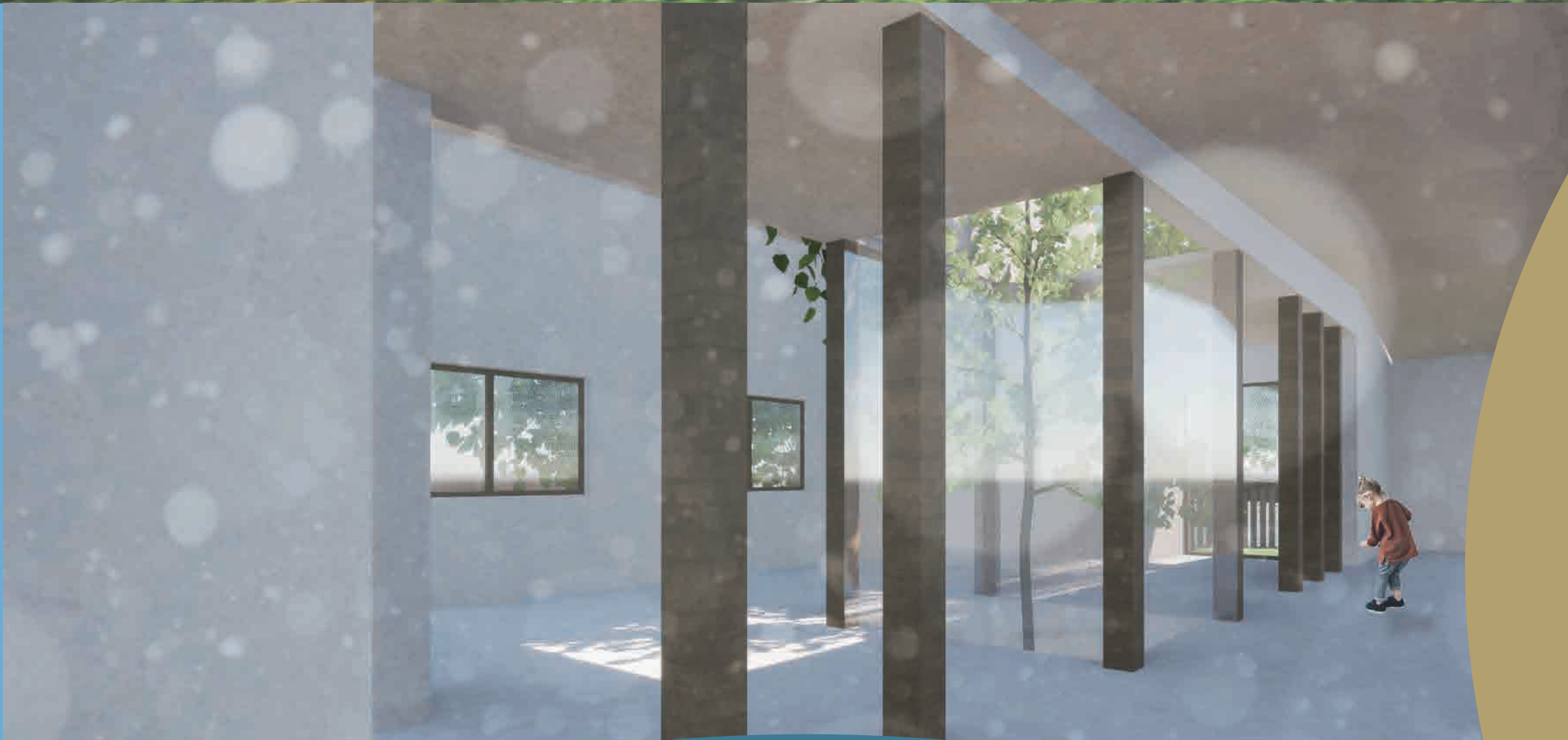


コワーキングスペース『漣 sazanami』

直訳：こまかく立つ波。

願い：一定のリズムで波立つ音は「穏やかさ」を想起するので「落ち着きのある空間になってほしい」という願いを込める。また、小さな波を仕事にたとえて、「地道な努力を続け、少しずつ成長していける場所になってほしい」という願いを込める。



女性の社会進出や少子高齢化に伴い、子育て支援が重要視されて久しいが、近年の逆ドーナツ化現象（都心回帰）により、都市部で保育所や学童保育所の入所希望児童が急激に増加し、子育て環境が整っているとは言えず、特に保育園をはじめとした子育て支援施設の不足は喫緊の問題となっている。女性の社会進出が活発化したからこその子育てと仕事の両立の難しさや、子育ての孤立化や負担感をはじめ多くの葛藤を伴い、子育て期の女性が自立し、大きな負担感を抱くことなく子育てができる環境の構築が重要な課題となっている。



新型コロナウイルス感染症は、日本国内の経済だけでなく世界的に非常に大きな悪影響をもたらした。対面で仕事をすることができず、テレワークが普及した。しかしテレワークによる影響はネガティブなものばかりではなく、業務効率や勤務満足度の向上に効果がみられたというデータもあり、今後も活用されていくことが見込まれる。そこで、子供のそばでテレワークができるような場所が今後求められるのではないかと考え、コワーキングスペースをこの設計に組み込んだ。気分で環境を変えることができるよう、室内に「個室エリア」「集中エリア」「リラックスエリア」の3つの異なるエリアを設けた。一息つきたい時にすぐカフェに行けるよう、カフェの島に直接アクセスできるように隣り合わせになっている。



学童『澁 mio』

「澁」直訳：海、湖、川で、流れの作用で底が溝状に深くなった部分。

願い：「澁」を使った言葉に

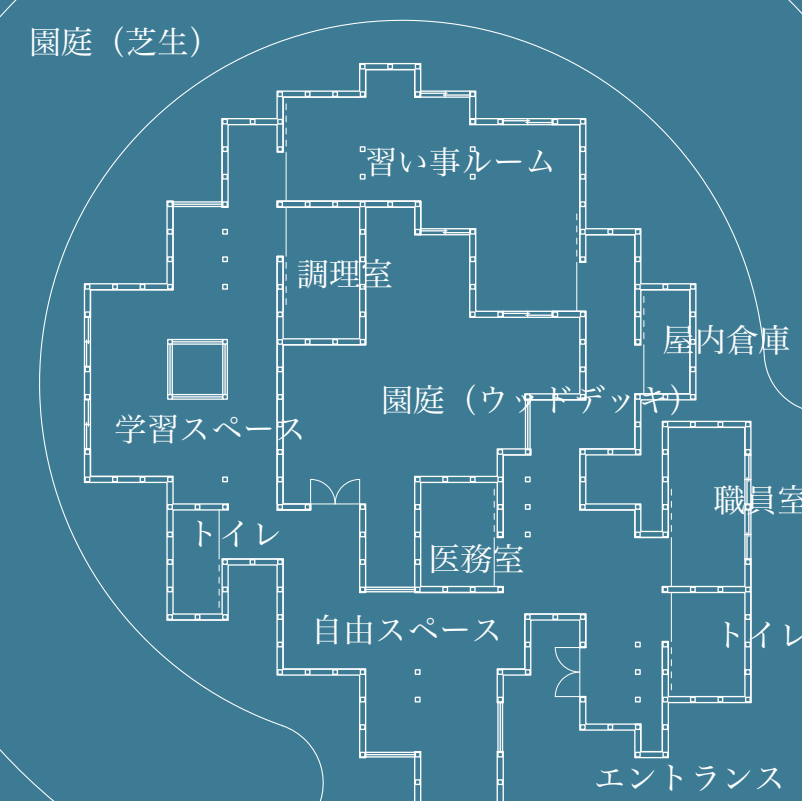
「澁標（みおつくし）」というものがあり、これは、船が浅瀬でつかからないようにするために水路を示して立てられた杭のこと。

澁標に紐付けて「人を導ける人に成長してほしい」「迷わずにまっすぐ進んでほしい」という願いを込める。

日本は世界の先進国と比べると女性の社会進出が遅れており、共働きも少ないが、日本の女性労働者・共働き家庭は現在共に増加傾向にある。そこで問題となっているのが、「待機学童」である。共働き家庭などの小学生を放課後に預かる学童保育を希望しても利用できない「待機学童」が2022年春に、東京23区で2600人あまりいることが日本経済新聞の取材で分かった。前年春より15%増えた。大型マンションの建設や親の就業意欲による需要の増加に受け入れが追いついていない。21年度末までに全国で待機ゼロとする政府目標は未達に終わった。つまり、学童数が燃焼人口の増加に追いついていないということである。対象地の周辺は小学校が多く、待機学童も増えている。そのため、水廻りの中に学童を設置することに決めた。また、都会に存在する従来の学童はビルの一部など小さく狭いところが多い印象にあるため、開放的なものかつ回遊性のある建物になるよう心がけて設計した。

「円環構造」

「習い事ルーム」近年の習い事増加を踏まえ、移動せず習い事ができるように設けた。





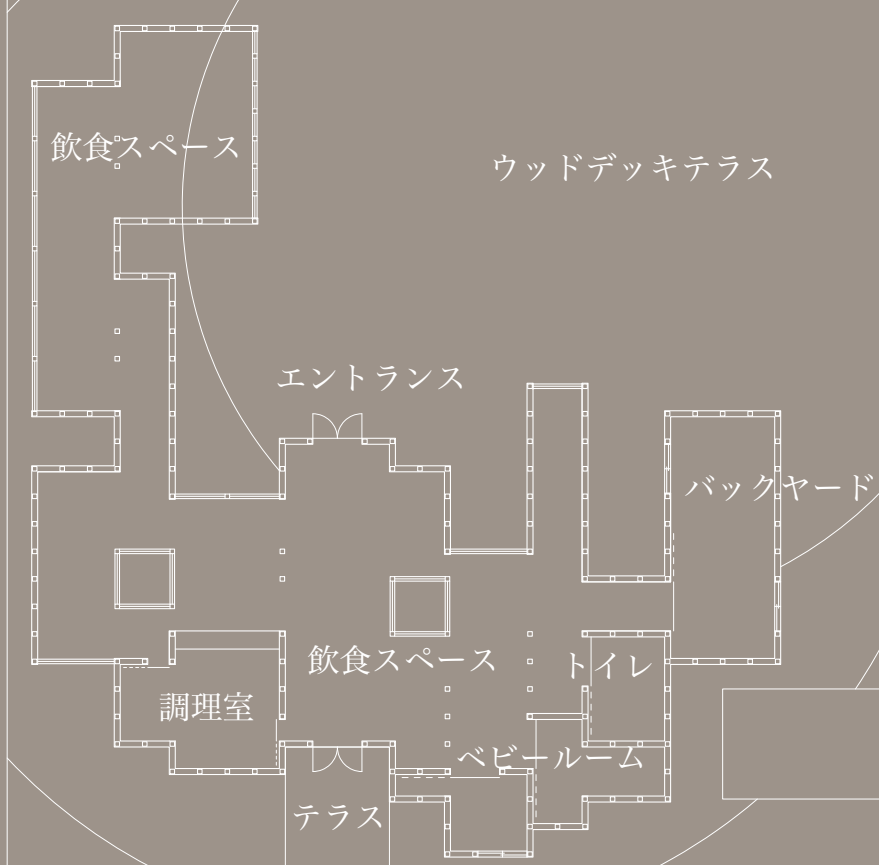
カフェ『雫 shizuku』

「雫」直訳：水や液体のしたたり。

願い：大きく豊かな大河も1滴の雫から始まる。このことから、「あらゆる物事の初めの一步を着実に踏み出せる場所になってほしい」という願いをこめる。

カフェが気軽につながりをつくる。周りの地域とも、園内も。過ごし方は人それぞれ。無理やり繋がらなくてもいい。でも繋がりたいと思った時に繋がれる場所。そんな場所をつくりたい。

カフェは「飲食」を目的とした人、また「飲食」を目的と見せかけた個々の目的がある人など、不特定多数の人が好きな時に足を運べる場所である。その反面、保育園や学童などはプライバシーが高く、雰囲気などをひと目で感じ取ることはむずかしい。保育園や学童、子育て支援センターそのものの雰囲気や、そこに通っている子供、親の過ごし方を見てみたいけど、勇気が出ない。初めは様子を見たい。そんな慎重な方も、まずは気軽にカフェでお茶でも試してみよう。



みんなのひろば

保育園や学童の利用者であるかどうかは関係なく、誰でも自由に入れるエリア。この公園を介して「豊洲」「東雲」「辰巳」「枝川」の周囲4つの地域を行き来することが可能。芝生とウッドデッキで構成された広大な公園上で、散歩をするもよし、ピクニックをするもよし、トレーニングをするもよし。近年、運動不足な人の増加が問題視されている中で、都会に住む人々の歩行を促進したいと考えこのような場所を設計した。屋根がついている場所を通ると雨の日でも濡れずに施設から施設へと移動することが可能である。

